

要企画提案事項：1

Myページ貸出履歴機能一式

成田市立図書館電算部会

機能を要望する理由

成田市立図書館では、利用者の貸出、予約等のデータを、利用者のデータとし、オプション方式によって提供するサービスを2013年3月から実施している。

希望する機能

Myページでのオプション方式

保存を開始したあとで、いつでも保存を中止できる。保存を中止したときに全ての履歴が削除される。

Myページの履歴一覧は、タイトル・著者・出版者・出版年・分類など書誌情報、貸出年月日、返却年月日のほかに、利用者自身のメモが入力できる。

メモのほかに、自由筆記でのタグを3つまで登録できる等のグループ分け機能がある。

Myページの履歴一覧では、個別書誌の履歴からの削除、複数書誌の一括削除ができる。

タグ、タイトル・著者・出版者・出版年・分類など書誌情報、貸出年月日、返却年月日でソートできる。

保存上限をパラメータで設定（図書館側機能）でき、上限に達するとメッセージを出せ

Myページからファイル出力できる。

契約終了時に移行できるようにデータを抽出できる。

帳票の利用者一覧で、履歴保存設定の有無がわかる。

帳票の利用者一覧で、保存履歴件数がわかる。

要企画提案事項：2

今度読みたい本機能一式

成田市立図書館電算部会

機能を要望する理由

成田市立図書館では、当館の作成した仕様に従って2007年3月からの第5次図書館システムで「今度読みたい本」を提供し、第6・7次図書館システムでは機能拡張してサービスを継続している。第8次図書館システムでもこのサービスを継続する。

希望する機能

OPACのローカル一覧画面から登録できる。

登録時に、メモとタグ3つ程度までを登録できる等のグループ分け機能がある。

Myページで、メモとタグを修正できる。

Myページでタイトル、著者、出版者が見える。

タイトル、著者、タグでソートできる。

タイトルからローカル一覧画面へのリンクがある。

今度読みたい本から予約したときは、今度読みたい本から削除するかどうかの問合せメッセージが出る。

今度読みたい本から予約して削除のときは、削除事由が「予約入力」となる。

今度読みたい本を削除するときは、削除事由が必須入力になる。

削除事由は、1まちがえた、2興味・必要がなくなった、3図書館で借りた、4図書館で予約した、5購入した・読んでしまった、6その他

今度読みたい本を、Myページで確認するとその資料の貸出・在架・予約数が表示され、また予約ボタンもある。

登録資料を除籍や異動（紛失、不明）にするときにはメッセージが出て、今度読みたい本に登録されている資料と分かる。

登録資料を除籍や異動（紛失、不明）にしたときには、利用者からは「所蔵なし」と表示される。

資料状況照会で、今度読みたい本に登録されている資料と表示が出る。

保存上限をパラメータで設定（図書館側機能）でき、上限に達するとメッセージを出せMyページからファイル出力できる。

契約終了時に移行できるようにデータを抽出できる。

帳票の利用者一覧で、今度読みたい本登録件数がわかる。

帳票で、今度読みたい本一覧が出せる。

帳票の今度読みたい本一覧は、現在の一覧と、削除された一覧を出せる。

帳票の今度読みたい本一覧は、利用者の属性情報は出力するが、個人が特定できる情報は出力しない。またメモは出力しない。

帳票の今度読みたい本一覧は、以下の項目が出力できる。

登録日、登録時間、OPAC区分、更新日、更新時間、OPAC区分、削除日、削除時間、OPAC区分、削除理由、削除区分、利用者区分、利用者層区分、生年月日、住所コード、住所コード文字列、ISBN、書誌番号、MARC、MARC種別、NSIN、和洋区分、資料区分、形態区分、蔵書区分、排架区分、仮書誌、刊行区分、タイトル、タイトルカナ、著者名、出版者、出版年、分類別置、分類、複本数、発注数、総予約数、現予約数、総貸出数、今度読みたい本数、今度読みたい本総数、不明、紛失、除籍、修理、OPAC非表示数、県立所蔵、タグ

要企画提案事項：3

Myページおすすめリスト機能一式

成田市立図書館電算部会

機能を要望する理由

2009年6月27日よりおすすめリストを提供している。

2011/3末で、設定者1,376名で、そのうち履歴保存とした人が1,157名である。実登録者数4,850名のうち3.4%、パスワード発行者7,519名のうち18.3%が設定している。

2018/3末で、設定者2,491名で、貸出履歴保存とした人が1,508名である。パスワード発行者52,463名のうち4.7%が設定している。

2023/3月末で、設定者3,818名で、貸出履歴保存とした人が2,211名である。パスワード発行者67,540名のうち5.7%が設定している。

パーソナライズされた資料紹介をできるサービスであり、継続を希望するものである。

この機能は、利用者のデータは利用者自身しか利用していない点も注意事項である。

希望する機能

申請者のみのサービスとする（サーバに負担をかけないため）。

リストを作成する元データが更新されると、夜間バッチでおすすめリストを更新して、Myページでプッシュ通知できると評価する。

リスト作成の検索式や、ソートの重みづけの試行錯誤が容易にできると評価する。

OPAC検索ログで、おすすめリストからの検索と分かるなど、おすすめリストの利用が分かることと評価する。

帳票の利用者一覧で、おすすめリストの設定をしているか、履歴保存を設定しているかが分かること。

システム内容

希望者は、Myページで、おすすめリスト作成を利用すると登録する。（初期値はいいえ）

システム側のパラメータで、履歴書誌IDを保存させるサービスを行うかどうか設定できる。

利用者もおすすめリストの作成とは別に、貸出履歴の保存の可否を設定できる。（初期値はいいえ）

貸出履歴の保存をしないとしても、おすすめリストを作成できること。

作成元データ

- ・その時点の貸出の書誌
- ・その時点で予約している書誌
- ・今度読みたい本に登録されている書誌
- ・貸出履歴書誌（貸出履歴保存している利用者のみ）

現行機能の作成方法

著者名、件名、分類を抽出

抽出されたキーワードでOR検索を行う。

検索結果に、累積貸出回数、総予約数、図書館評価、利用者評価を合計した点数をカウント

貸出累計 ×？ 7 パラメータで設定できる。

総予約数 ×？ 20 パラメータで設定できる。

図書館評価点 ×？ 100 パラメータで設定できる。

集計上限 1000 パラメータで設定できる。

点数の高い順にソートして、上位1,000件を表示。0点は対象外。

表示は、順位、資料区分、タイトル、著者名、出版者、出版年、分類

現在自身が貸出中、予約中、今度読みたい本、貸出履歴の資料は除外。

現行機能の課題点

- ・利用者の年齢の考慮がない。
- ・著者や件名が典拠コードで検索されていない。ただし典拠コードがない書誌もあるのを考慮してあること。
- ・利用者が貸出（含む履歴）の編集ができない。
- ・貸出履歴保存しているときは、利用者の興味が移行していても、重みがフラットに与えられる。

課題点を解決しうる計算式や検索式の提案を評価する。

要企画提案事項：4

権限者更新、更新者ログ機能一式

成田市立図書館電算部会

機能を要望する理由

図書館システムは、図書館の職員だけでなく、会計年度任用職員、公民館職員等も使用している。

現在、データの更新に係る処理において、処理者が特定できないものとして、利用登録、ローカル情報更新、書誌更新がある。また、貸出、貸出延長、予約の変更および削除も誰でも操作できる状況にあり、セキュリティ上望ましくない。

特に本館においては、カウンター等で職員、会計年度任用職員が同一端末を使用する場合もあるため、処理の度にログインユーザを変更する運用は現実的には難しいところである。

また、利用登録、雑誌の登録業務、書庫入れ処理、除籍処理、納入点検、ローカル情報修正等の作業を会計年度任用職員も行うため、ログインユーザの制御により業務を分けることも難しい。

公民館図書室においては、公民館職員が貸出返却業務のみを行う運用であるため、ログインユーザによりメニューを制限している。

次の流れを実現できる機能を希望する。

- (1) ログインユーザおよびパスワードは変更しない状態
- (2) データ更新に係る処理を行う部分のみ、更新権限の有無を確認する処理がある
- (3) 更新権限を持つスタッフのみ更新処理を行うことができる
- (4) 処理のログ（どのスタッフが、いつ、どの端末で、何の更新処理を行ったか）を取ることができる

希望する機能

図書館システムには、ログインユーザおよびパスワードでログインを行う。

職員一人一人に職員IDを付与し、システム管理者は職員IDごとの更新権限を設定できる。

1回の処理ごとに、処理者の更新権限の有無の確認を必要とできるのは、利用登録（新規、更新、削除、パスワード再発行等）、ローカル情報更新（新規、修正、削除）、書誌登録（作成、修正、削除（タグ単位でも））、予約（割当）取消、予約（割当）変更

多量のデータを一括で処理できるよう、処理メニューを選択する際に処理者の更新権限の有無の確認を必要とできるのは、一括区分変更（除籍含む）、納入点検、一括利用者削除、一括延滞削除等、バッチ処理系も含む。

また、貸出、返却においても利用する可能性がある。

更新のデータは、日時分、職員ID、端末ID、処理メニュー、処理データ情報をログとして保存される。

システム管理者用のログインユーザのメニューで、更新ログの一覧が通覧、もしくはファイル出力できる。

要企画提案事項：5

外部提供API

成田市立図書館

機能を要望する理由

情報提供機関としての図書館は、情報発信の一環として資料紹介を積極的に行っていかななくてはならない。現在、成田市立図書館では、特設展示コーナーでの資料紹介や、クイックサーチなどで積極的に資料紹介を行っている。また、新着資料案内メールや、おすすめリストなどプッシュ型の情報発信サービスを行っている。

インターネットで情報発信していく上で、必要とされているのは外部システムから機械的に利用可能とする仕組み（API）と考えている。

希望する機能

SRU、SRW、OpenSearch、OpenURLによるAPI
ハーベスティングとして、OAI-PMHによるAPI
API仕様書一式（図書館および公開用資料）